

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 教授

氏名: 松原 茂

| | | |
|-------|---|---|
| 研究課題 | | コーヒーの飲用と運動との併用効果に関する基礎的研究 |
| 報告の概要 | 研究目的及び研究概要 | <p>研究目的 本研究では、身体に最も有効なコーヒーの成分の解明と、そのような成分と運動との併用効果について明らかにするものであり、コーヒーの飲用と運動との併用効果に関する基礎的研究となり得る。</p> <p>研究概要 ①肥満・糖尿病モデルOLETFラットを、複数の介入グループ(安静維持群、運動のみ実施群、カフェイン類を混ぜた餌を投与する(混餌投与)群、運動と混餌投与を併用して行う群など)に分け、同期間介入を行う。また、ヒトを対象とし、複数の介入グループ(安静群、コーヒー飲用群、運動とコーヒー飲用併用群など)に分け、いずれのグループにおいても同期間介入を行う。 ②介入前後においては、OLETFラットの体重、内臓脂肪、皮下脂肪、除脂肪量を測定し、酸化ストレス値・抗酸化ストレス値などのデータを収集・分析する。ヒトにおいても介入前後の体重、体脂肪率、除脂肪体重、血圧、酸化ストレス値・抗酸化ストレス値などのデータを収集・分析する。 ③さらに、ヒトにおける運動の状況や食事、サプリメントの摂取、服薬の状況などを把握し、適した対象者を抽出するためにアンケート調査も実施する。</p> |
| | 研究成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの血圧の測定方法の違いと一年を通じた季節間による測定値の差異についての研究を共同研究者とともに検討し、血圧測定を用いる実験の最適な実施期間を把握することができた。 ・本研究の対象者を母集団から抽出するために、サプリメントの摂取や服薬の方法に関する知識の理解度についてアンケートを実施し、事前調査を行った。アンケートの実施方法や質問項目の作成も含めて、改善点が判明した。次年度以降実施予定の、食事や運動に関するアンケート作成時に今年度の改善点を反映する。 |
| 研究業績 | ・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数 | ①論文:Naoko Onuma, Rie Nakajima, Megumi Abe, Shigeru Matsubara, Eriko Matsuo and Daisuke Shindo. Attitudes toward Anti-Doping Education among Coaches of Youth Athletes. Journal of Sports Medicine & Doping Studies, 2019, 9(1), 1000211, 1-8. |
| | ・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所 | ①学会発表:塩田正俊、松尾絵梨子、松原 茂、鈴木政登 「高齢心房細動患者の血圧管理—上腕、手首および指血圧と水銀血圧の季節変動—」 第73回日本体力医学会大会、平成30年9月9日、アオッサ・ハビリン(福井県). |
| | ・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等 | なし |